



ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 95

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

問) 明治7年に海軍兵学校で行われた日本初の運動会のプログラムを知りたい。

答) 運動会、海軍をキーワードとして検索します。調べていくとこの運動会は「競闘遊戯会」と呼ばれていたことがわかったので、競闘遊戯をキーワードにもう一度検索します。

全資料 → 運動会 空白 海軍 (77件該当)

全資料 → 競闘遊戯 (2件該当)

『史料が語る明治の東京100話』(382.13/N71) 閉架

『黎明期ノ帝国海軍』(397.21/Ka21) 閉架

さて、日本初の運動会の内容は？

興味のある方は上記の図書で調べてみませんか。



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



『週報』より…⑤

— 燃料国策 —

このシリーズでは、昭和 11 年 10 月に政府が官報の附録として発行した『週報』より、主に生活に関する記事を紹介していきます。

第3号(昭和 11 年 10 月 28 日発行より)

燃料国策に就いて…商工省

外国依存の石油事情を鑑みて、当時の情勢から石油自給対策の緊要性を論じ、液体燃料自給促進方策として、以下の3点を挙げている。

- (1)内外石油資源の開発
相当の困難を伴い、また国内の需要を十分に満たすことができない。
- (2)代用燃料工業の振興
今後の燃料政策の中心たるべき重要性をもつ。
代用燃料として、人造石油、液体燃料に分けてその事業の拡大を論じる。
- (3)燃料の消費節約及有効利用の促進
流し円タクの制限、木炭自動車、ガス自動車、電気自動車等の使用普及並びに燃料用重油の石炭に依る転換等の方策を以て石油の消費を直接制限する。

+++++

戦時中、代用品の中で一番切実に求められていたのが代用燃料です。このような石油政策を受けて、政府は木炭自動車を奨励するようになりました。しかし、この頃、民間では充分な研究が進んでおらず、陸軍自動車学校で研究を重ねた木炭自動車を乗用車、貨物車に奨励しました。木炭自動車は、昭和 25 年の石油事情が改善する頃まで、活躍しました。

また、石油消費の合理化を計る目的で、タクシーのメーター制が実施されたのもこの頃です。

石油高騰の影響で、生活用品の値上げが相次ぐ昨今、当時と似ているような気がするのは気のせいでしょうか。当時の資料からも消費節約のヒント等が得られるかもしれませんね。

—図書室から—

急に寒くなり、彩り豊かだった木々も散り始めています。今年もあとわずかです。

当館では、11月23日(金)から平成20年2月11日(月)までの土日、祝祭日に「敗戦と占領下の日本」と題した特別上映会を実施しております。ぜひお立ち寄りください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 95

2007年11月25日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1